

町長の施政方針に対する代表質問

町長施政方針は、3月10日発行広報の5ページ以降をご覧ください。

総務文教常任委員会代表質問

副委員長 高橋綾夫

予算編成と執行

問 ドクターヘリ離着陸場の整備場所と内容は。

答 カルチャーセンター裏のゲートボール場脇駐車場に、消雪パイプ敷設で行う。

問 ノリタ光学跡地除染に4億6300万円と多額の予算を計上しているが、他の財政運営に影響はないのか。

答 全くないとは言えないが、25年度末で財政調整基金が約13億円残り、残高比率が約31%で、県下他町村平均と同程度で問題無い。

国際交流

問 マグナ訪問の人選と、

指導をどのようにしていくのか。

答 今まで総務課担当で町職員が指導、引率をしていて子どもたちと意思疎通ができなかったが、今後なるべく中学教師に引率してもらう。

問 記念植樹はどのような形で行うのか。

答 マグナ側では中学生派遣時の8月9日にマゼソン中学で、町長と総務課及び教育委員会両担当者が出席で行えるよう調整中。湯沢側は統合学園開校の26年度に予定。

学校教育の充実

問 小中一貫校開校に関する情報提供をもっと行うべき、新年度の展開はどうか。

答 広報の「湯沢学園設

立準備コーナー」を活用し提供するが、載せきれない所はホームページ等でお知らせする。

湯沢学園建設工事

問 閉校記念誌の全戸配布はされるのか。

答 小学校は校区の全世帯に、中学校は歴史や思い出をまとめたパンフレットを町内全世帯に配布する。

生涯学習の推進と文化振興

問 まちなか美術館の充実を図るとあるが、広がりが見えない。どう進めて行くのか。

答 現在公共施設やホテルなどで22か所190点、商店など3店舗9点展示しているが、商工会とタイアップして更に取り組んでいく。

行政運営の効率化

問 人員削減の最終目標はどの位か。

答 現在139名(専門職43、一般事務96)を平成28年4月1日には130名(専門職40、一般事務90)にする予定。

湯沢町公民館の指定管理者制度導入

問 指定管理者制度の中で生涯学習をどう展開させるのか。

答 今後の検討、検証の中で考える。



厚生福祉常任委員会代表質問

副委員長 宮田眞理子

社会福祉全般

問 地域と行政とが協働して解決するための仕組みづくりに取り組み、効果的で持続性のある事業運営を図るとありますが、具体的にどんな事なのでしょう。

答 多職種、多機関協働の認知症サポートセンター養成、アクションミーティング、介護者家族交流、高齢者サロン、徘徊SOSへの対応等、高齢者が安心して暮らせるように多様な取り組みを行っている。

介護保険事業

問 本主に30床の増床で解消されるのでしょうか。

答 ほぼ解消されると見込んでいる。入所については、判定会議で生活状態、介護度、待機年数を勘案して決定している。



障がい者施策

問 障がい者の就労は、町内の施設は「あさひばら」の1か所だけです。「あさひばら」を充実させ町内で多く就労できる体制が必要と思われ

ます。

答 安全、採光にも配慮している。消パイは申し入れる。

問 が、如何でしょうか。

答 「あさひばら」には9名と、多くの受け入れをして頂いている。経営する南魚沼福祉会と連携して、就労の場の充実を図りたい。